

公益財団法人愛知県文化振興事業団

令和 2 年度事業報告

令和 2 年度事業報告 目次

I	令和 2 年度事業総括	3
II	公益目的事業	4
1	芸術劇場、アートのスペースの管理運営	4
	芸術劇場の利用状況	
	アートのスペースの状況	
2	自主事業の企画制作	5
	公演事業	
	人材養成事業	
	普及啓発事業	
3	愛知芸術文化センターの管理運営等	2 3
	広報・マーケティング	
	アートプラザの運営	
	施設管理・防災	
	他団体との連携・交流	
	その他	
III	収益事業	2 7
	ミュージアムショップ	
	アートショップ	
	プレイガイド	
IV	法人運営	2 8
	理事会・評議員会の開催状況	
	組織体制	
V	資料	3 0

I 令和2年度事業総括

公益財団法人愛知県文化振興事業団は、平成4年に設立以来、個性豊かな地域文化の振興を図り世界に開かれた魅力ある愛知づくりに寄与するため、愛知県や文化芸術関係機関・団体等との連携の下、各種の文化芸術事業を実施してきました。また、平成26年度からは、愛知芸術文化センターの指定管理者として、芸文センター全体の施設管理や、愛知県芸術劇場等の運営を行っています。

令和2年度は、コロナ禍が年間を通して継続し、文化芸術活動は多大な影響を受けましたが、愛知県と緊密に連絡をとりながら、コロナ禍における新しい生活様式に十分配慮し、常にお客様・ご利用者様の目線に立って、安全かつ快適な環境づくりとサービスの一層の向上を目指し、県民の皆様に安心して文化芸術を楽しんでいただけるよう努めました。

芸文センターの管理運営では、国や愛知県等のガイドラインをベースとしつつ、当劇場や県内劇場関係者の意見も参考にして、愛知県芸術劇場独自のガイドラインを策定しました。手指消毒剤の設置、抗菌コートの施工、足元サインによるソーシャルディスタンスの確保などを始め、芸術劇場各ホールの収容率を定員の50%以下とする等の多くの対応を実行しました。愛知県と調整の上、コロナ禍拡大防止のために利用をキャンセルした場合の施設利用料金を全額返還する等の対応も行いました。

自主事業では、文化庁「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」に採択された「劇場による地域文化向上プロジェクト」に基づき、家族で楽しめる「ファミリー・プログラム」、質の高い多彩なジャンルを展開する「愛知芸文フェス」、先駆的・実験的で創造性に満ちた「ミニセレ (Mini Theater Selection)」の3つの柱を軸に、新しく就任いただいた勅使川原三郎芸術監督の下、質の向上や情報発信に努めました。

コロナ禍にあって、多数の事業を中止せざるを得ませんでした。その一方で、事業内容の見直しやオンラインの活用という工夫を重ね、勅使川原三郎芸術監督のダンス公演を始め多種多様な公演を開催するとともに舞台芸術を担う人材の養成や、障がいのある方や在住外国人など劇場に来場しにくい方向けのワークショップ等による普及啓発などに取り組みました。

Ⅱ 公益目的事業

文化芸術の振興を図り、心豊かな県民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する場と機会を提供する事業として、愛知県芸術劇場の管理運営、舞台芸術公演・人材養成・普及啓発活動を展開しました。また、芸文センター全体の広報や催事室（アートスペース）・アートプラザの管理運営、及び愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行いました。

1 芸術劇場、アートスペースの管理運営

当事業団では、愛知県芸術劇場各ホール及びアートスペースの利用許可や利用打合せ、技術面・安全面でのサポートなど、公演当日まできめ細やかなサービスを行い、県民の皆様が多彩で質の高い舞台芸術公演を鑑賞する場や創造活動をする場を提供しています。

コロナ禍が続いた令和2年度は、4月の緊急事態宣言発令に伴って芸文センター全体が臨時休館となり、6月の全館開館後は、収容率を定員の50%に設定するなど、感染症防止対策に万全を期した対応を進めてきましたが、令和3年1月には2度目の緊急事態宣言が発令されるなど、芸文センターの管理運営は非常に厳しい状態が続きました。

なお、愛知県の方針に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために利用をキャンセルした場合の施設利用料金は全額返還し、大ホール、コンサートホール及び小ホールの感染症防止対策を講じた上での利用は施設利用料金を50%減免しました。また、大ホール、コンサートホール、小ホール及びリハーサル室については、利用料金納入期限を施設利用日の6か月前から1か月前に変更するといった対応も実施しました。

1 芸術劇場の状況

令和2年度の芸術劇場の利用状況及びキャンセルの状況は、次のとおりです。

<芸術劇場の利用状況>

項目	区分	2年度	令和元年度	30年度	29年度
利用率 (%)	大ホール	24.4	80.6	—	88.1
	コンサートホール	43.0	76.1	99.0	76.0
	小ホール	66.0	71.4	86.1	87.4
入場者数 (人)	大ホール	38,400	287,315	—	319,970
	コンサートホール	49,601	227,238	98,645	69,593
	小ホール	9,704	26,998	28,319	16,364

※ 令和2年度は、4月25日から6月1日まで臨時休館。

※ 令和元年度の大ホールは、改修明けの平成31年4月23日からの値。

※ 30年度のコンサートホールは、改修明けの平成30年11月26日からの値。

※ 29年度のコンサートホールは、改修前の平成29年7月末までの値。

※ 29年度の小ホールは、改修明けの平成29年10月14日からの値。

<芸術劇場の利用許可、キャンセルの状況>

区 分	利用許可件数 → キャンセル後の件数				
	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月	年間計
大ホール	32件 → 0件	39件 → 5件	38件 → 14件	32件 → 12件	141件 → 31件
コンサートホール	43件 → 2件	53件 → 15件	72件 → 32件	59件 → 34件	227件 → 83件
小ホール	31件 → 2件	29件 → 16件	34件 → 19件	26件 → 21件	120件 → 58件

※ 許可した件数であり、公演数や利用日数ではありません。

2 アートスペースの状況

アートスペース（催事室）の令和2年度の利用状況及びキャンセルの状況は、次のとおりです
 <アートスペースの利用状況>

項 目	区 分	2年度	令和元年度	30年度	29年度
利用率(%)	会議室利用	27.5	54.9	47.4	53.3
	展示室利用	37.2	74.4	94.3	79.1
入場者数(人)	全 体	26,174	109,904	56,197	65,556

※ 令和2年度は、4月25日から6月1日まで臨時休館。

※ 30年度は、改修明けの平成30年7月24日以降の値。

※ 29年度の会議室利用は、改修前の平成29年11月末までの値。

<アートスペースの利用、キャンセルの状況>

区 分	利用許可件数 → キャンセル後の件数				
	4～6月	7～9月	10～12月	1月～3月	年間計
アート スペース	207件 → 38件	183件 → 107件	166件 → 133件	150件 → 88件	706件 → 366件

※ 許可した件数であり、利用日数ではありません。

※ 複数日・複数室利用を1通の許可書で許可している場合、1件で計上しています。

2 自主事業の企画制作

「ファミリー・プログラム」、「愛知芸文フェス」及び「ミニセレ」の3つの柱を軸にラインナップを構成し、音楽、舞踊、演劇等の領域にとらわれないボーダレスな作品に取り組んでいますが、コロナ禍にあって、事業内容の見直しやオンライン配信の活用など、工夫を重ねた公演事業も多く開催しました。また、令和2年9月補正により、文化庁の受託事業として、コロナ禍の拡大により失われた文化芸術体験の機会を取り戻すことを目的とした「ジャパン・ライブエール・プロジェクト@あいち」を実施しました。

その一方で、計21事業については、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく事業を中止しました。

●自主事業等実施状況

事業種別	実 施 状 況			
	コロナ対策を実施して「開催」	事業内容の見直しやオンライン配信による「代替」開催	「9月補正」事業	「中止」
ファミリー・プログラム	1事業（2公演）	7事業（24公演）	—	6事業（34公演）
愛知芸文フェス	6事業（15公演）	2事業	1事業	2事業（3公演）
ミニセレ	8事業（22公演）	1事業	—	1事業（3公演）
その他の公演	4事業（5公演）	—	3事業（25公演）	5事業（15公演）
人材養成事業	7事業	6事業	—	1事業
普及啓発事業	11事業	5事業	—	6事業

※各実施事業間で重複するものについては、それぞれ計上しています。

1 公演事業

「ファミリー・プログラム」、「愛知芸文フェス」及び「ミニセレ」の3つの柱を軸にラインナップを構成し、音楽、舞踊、演劇等の領域にとらわれないボーダレスな作品にも取り組みました。

(1) ファミリー・プログラム



家族のためのフェスティバルとして夏休みを中心に企画し、子どもから大人まで世代を越えて楽しめるプログラムを実施して、舞台芸術の持つ様々な魅力を伝え、劇場全体を楽しく魅力ある場所にしようとする事業。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
【オンライン開催】 げきじょうたんけんツアー	代替	-	オンライン	-	オンライン配信 観覧数 1,196回 (3月末現在)
		例年は小学校低学年を対象に、愛知県芸術劇場スタッフが劇場を案内するツアーを開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により劇場開催を中止し、代替として大ホールを探検する動画を撮影して9月25日からYouTubeにて配信しました。			
ダンス・ワークショップ 「妖怪になって踊ろう！」 ファシリテーター：プロジェクト 大山	中止	7月24日 (金・祝) (1回)	大リハーサル室	-	-
		小学校高学年の児童を対象としたダンス・ワークショップを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
【オンライン開催】 赤ちゃんと踊ろう オンライン ファシリテーター：プロジェクト 大山	代替	7月25日(土) (1回)	オンライン	-	11人 (20人)
		赤ちゃんと一緒に踊りながら、パパ・ママ同士も交流もできるダンス・ワークショップを、ウェブ会議システムを活用してオンラインで開催しました。			
『えんどうまめとおひめさま』 製作・出演：ディブウィク・ダンスカンパニー	中止代替	7月26日(日) ～28日(火) (6公演)	小ホール	-	-
		アンデルセン童話『えんどう豆の上のおひめさま』を下敷きにしたダンスと演劇によるパフォーマンス公演を開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。代替として『えんどうまめとおひめさま』の物語をモチーフにした「すごろく」を作成し、ウェブ上などで配布しました。			

※来場者満足度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場での紙媒体のアンケートではなく、オンラインアンケートで実施しました。その結果回答率が低くなっており、回答率5%以下のものは記載を省略しております。

事業名	実施 状況	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
『えんどうまめとおひめさま』 県内ツアー (各市町村劇場と共催)	中止 代替	7月30日(木) (3公演)	半田市福祉 文化会館	-	-
		8月1日(土) (2公演)	小牧市味岡 市民センター	-	-
		8月7日(金) (2公演)	豊川市音羽 文化ホール	-	-
		8月9日(日) (2公演)	あま市美和 文化会館	-	-
		8月13日(木) (3公演)	名古屋文理 大学文化 フォーラム	-	-
		8月14日(金) 15日(土) (4公演)	名古屋市瑞穂 文化小劇場	-	-
		8月20日(木) (3公演)	幸田町民会館	-	-
		8月22日(土) (3公演)	碧南市芸術 文化ホール	-	-
		アンデルセン童話『えんどう豆の上のおひめさま』を下敷きにしたダンスと演劇によるパフォーマンス公演を県内ツアー開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。代替として『えんどうまめとおひめさま』の物語をモチーフにした「すごろく」を作成し、ウェブ上などで配布しました。			
【一部オンライン開催】 THE オルガン NIGHT&DAY 2020 オルガン：勝山雅世 打楽器：村本寛太郎(DAYのみ)	開催 代替	Night 7月29日(水) Day 7月30日(木) (各1公演)	コンサート ホール、 オンライン	-	NIGHT 262人 (798人) DAY 129人 (798人) オンライン配信 観覧数 1,238回 (3月末現在)
		大人、幼児、子ども向けにワンコイン45分間のオルガンコンサートを開催しました。なお、30日午後の1公演を中止し、代替として無観客で演奏を撮影して9月1日からYouTubeにて配信しました。			

事業名	実施 状況	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
『よちよちの部屋』 製作・出演：ディブウィク・ダン スカンパニー	中止	8月5日(水) (3公演)	大リハー サル室	-	-
		ノルウェーのダンス・カンパニー、ディブウィク・ダンスカンパニーによる、乳幼児向けのパフォーマンスを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
『どうする！？アンデルセンさん！』 演出：鳴海康平 出演：小菅紘史、夏目慎也、 南波圭、白神ももこ	代替	8月5日(水) 8日(土) 9日(日) (12公演)	小ホール	-	51人 (192人)
		『えんどうめとおひめさま』及び『よちよちの部屋』の代替公演として、新型コロナウイルス感染症対策を演出に組み込んだ児童向けの体験型パフォーマンスを新しく捜索し上演しました。			
『どうする！？アンデルセンさん！』県内ツアー (各市町村劇場と共催)	代替	8月7日(金) (4公演)	名古屋市千種 文化小劇場	-	44人 (64人)
		8月15日(土) (4公演)	名古屋市瑞穂 文化小劇場	-	38人 (64人)
		8月20日(木) (4公演)	幸田町民会館	-	51人 (64人)
		『えんどうめとおひめさま』及び『よちよちの部屋』の代替公演として、新型コロナウイルス感染症対策を演出に組み込んだ児童向けの体験型パフォーマンスの県内ツアー公演を実施しました。			
チェコ・アルファ劇場『快傑ゾロ』 製作・出演：アルファ劇場 (特定非営利活動法人愛知人形劇セン ター、一般財団法人ちりゅう芸術 創造協会と共催)	中止	①8月5日(水) ②8月19日(水) (2公演)	①パティオ 池鯉鮒 ②小ホール	-	-
		チェコの伝統的なマリオネットが繰り広げる人形劇を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
日生劇場ファミリーフェスティヴァ ル2020 物語付きクラシックコンサート 『アラジンと魔法の音楽会』 指揮：大井剛史 出演：加来徹、小関明久、万里紗 ほか 管弦楽：愛知室内オーケストラ (ニッセイ文化振興財団と共催)	中止	8月20日(木) (1公演)	大ホール	-	-
		日生劇場が制作する、毎年大人気のクラシック音楽コンサートシリーズで、個性豊かなキャラクターたちと一緒に、フルオーケストラの演奏やユニークなお芝居を家族全員でお楽しみいただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
合計 5事業 26公演(うちオンライン配信3事業)、中止6事業 34公演					586人 オンライン視聴 2,434回

(2) 愛知芸文フェス



愛知芸術文化センターの開館記念日（10月30日）を中心に、多彩なジャンルの作品を楽しむことができるフェスティバルを開催し、質の高い舞台芸術公演等を集中的に上演する事業。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
ダンス・セレクション 出演：倉田 翠/akakilike、 柿崎麻莉子	開催	10月2日(金) 3日(土) (2公演)	小ホール	100%	172人 (196人)
		過去に国内外で上演された作品の中から、当事業団のプロデューサーが選び抜いた気鋭のダンサー・振付家たちの作品をオムニバス形式で上演しました。			
名古屋二期会 創立50周年記念 定期オペラ公演 歌劇『魔笛』 指揮：飯守泰次郎 演出：伊藤明子 合唱：名古屋二期会合唱団 管弦楽：名古屋二期会オペラ管弦楽団 (一般社団法人名古屋二期会と共催)	中止	10月3日(土) 4日(日) (2公演)	大ホール	-	-
		名古屋二期会との共催で、「私は鳥刺し」や「夜の女王のアリア」などの名曲が登場する、モーツァルトの最高傑作として世界中で親しまれている人気作を上演する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
オルガン・スペシャルコンサート ～ティッターリントンのブリティッシュ・オルガン 出演：デイヴィッド・ティッターリントン	中止	10月23日(金) (1公演)	コンサートホール	-	-
		ベルリン交響楽団やBBC交響楽団など世界中のオーケストラと共演を重ねる英国のオルガニストによる演奏を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
『「見えない／見える」ことについての考察』 演出・振付・出演：森山未来 共同振付：大宮大奨 (サンライズプロモーション東京と共催)	開催	10月23日(金) ～25日(日) (6公演)	小ホール	-	433人 (840人)
		ノーベル文学賞作家ジョセフ・サラマーゴの小説『白の闇』から着想を得たテキストのリーディングを中心としたパフォーマンスを上演しました。			

事業名	実施 状況	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
【一部オンライン開催】 栄北まちなか展開連携事業 「久屋ぐるっとアート 2020」 (オアシス 21 始め 22 団体と共催)	開催 代替	10 月 31 日(土) ～11 月 3 日 (火・祝)	オアシス 21 ほか、 オンライン	-	57,821 人 オンライン配信 観覧数 1,200 回 (期間中)
		オアシス 21 や名古屋テレビ塔など、栄北地域の約 20 の文化施設や商業施設等と連携し、アートを気軽に楽しめるミニフェスティバルを開催しました。また、なごやウィメンズ・クラシック音楽動画『音楽でつなぐ久屋の風景』を 10 月 31 日から Youtube で配信しました。			
【ジャパン・ライブエール・プロジェクト】 『久屋ぐるっとアート 2020 連携プロジェクト』	9 月 補正	10 月 31 日(土)～ 11 月 3 日 (火・祝)	オアシス 21 ほか	-	上記のうち 16,896 人
		文化庁受託事業として、パントマイムなど地元のパフォーマー等を起用したイベントを開催しました。			
【一部オンライン開催】 第 18 回 AAF 戯曲賞受賞記念公演 『朽ちた蔓延る』 作：山内晶 演出：篠田千明	開催 代替	11 月 7 日(土) ～9 日(月) (3 公演)	小ホール、 オンライン	-	103 人 (142 人) オンライン配信 チケット購入者 85 (期間中)
		第 18 回 AAF 戯曲賞受賞作品で、架空の遺跡で日本人観光客や歴史学者の妻、かつて遺跡を築いた王など、時代や立場が錯綜する人物たちが各々の視点で独白する物語を上演しました。また、12 月 26 日から 1 月 17 日まで動画配信プラットフォーム「PIA LIVE STREAM」にてオンライン配信しました。			
愛知県立芸術大学管弦楽団 第 31 回定期演奏会 指揮：ユベール・スダーン 管弦楽：愛知県立芸術大学管弦楽団 (愛知県立芸術大学と共催)	開催	11 月 27 日(金) (1 公演)	コンサート ホール	-	630 人 (829 人)
		東海地方唯一で全国的にも数少ない公立芸術大学のオーケストラによる定期演奏会を開催しました。指揮は、メルボルン交響楽団首席指揮者をはじめヨーロッパ各地のオーケストラで活躍し、現在は東京交響楽団の桂冠指揮者を務めるユベール・スダーンが務めました。			
【勅使川原三郎芸術監督就任記念シリーズ】 『調べー笙とダンスによる』 ダンス：勅使川原三郎、 佐東利穂子 笙：宮田まゆみ	開催	12 月 4 日(金) ～6 日(日) (3 公演)	小ホール	-	246 人 (297 人)
		芸術監督の勅使川原三郎によるダンス公演として、「言葉と音楽とダンス」をテーマに、2018 年東京・両国シアターX で初演され話題を呼んだ作品を上演しました。			
合計 7 事業 15 公演 (うちオンライン配信 2 事業)、中止 2 事業 3 公演					59,405 人 オンライン視聴 1,285 回

(3) ミニセレ —Mini Theater Selection—



現代音楽、コンテンポラリーダンス、演劇など、様々な領域の同時代の作品を上演する。小ホールの特徴を活かして先駆的・実験的な作品を上演することで、新しい芸術や新しい劇場ファン層をさらに広げる事業。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
TRIAD DANCE PROJECT 安藤洋子×酒井はな×中村恩恵 『ダンスの系譜学』 (ダンス・ベース・ヨコハマと共催)	中止	5月15日(金) ～17日(日) (3公演)	小ホール	-	-
		日本のダンス界を牽引する3人の女性ダンス・アーティストによる特別公演を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
【勅使川原三郎芸術監督就任記念シリーズ】 『白痴』 ダンス：勅使川原三郎、 佐東利穂子	開催	7月17日(金) ～19日(日) (3公演)	小ホール	100%	176人 (222人)
		芸術監督の勅使川原三郎によるダンス公演で、パリ・シャイヨー劇場をはじめ、ヨーロッパでの公演を重ねた本作を小ホールで上演しました。臨時休館後初の自主公演であり、新型コロナウイルス感染症対策について検討を重ねた上で実施しました。			
【再掲】ダンス・セレクション 出演：倉田 翠/akakilike、 柿崎麻莉子	開催	10月2日(金) 3日(土) (2公演)	小ホール	100%	172人 (196人)
【再掲】 『「見えない／見える」ことについての考察』 演出・振付・出演：森山未来 共同振付：大宮大奨 (サンライズプロモーション東京と共催)	開催	10月23日(金) ～25日(日) (6公演)	小ホール	-	433人 (840人)
【再掲】【一部オンライン開催】 第18回AAF戯曲賞受賞記念公演 『朽ちた蔓延る』 作：山内晶 演出：篠田千明 (12月26日から1月17日まで動画配信プラットフォーム「PIA LIVE STREAM」にてオンライン配信)	開催代替	11月7日(土) ～9日(月) (3公演)	小ホール、 オンライン	-	103人 (142人) オンライン配信 チケット購入者 85 (期間中)

事業名	実施 状況	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
【再掲】 【勅使川原三郎芸術監督就任記念 シリーズ】 『調べ箏とダンスによる』 ダンス：勅使川原三郎、 佐東利穂子 箏：宮田まゆみ	開催	12月4日(金) ～6日(日) (3公演)	小ホール	-	246人 (297人)
地点×空間現代『グッド・バイ』 作：太宰治 演出：三浦基 音楽：空間現代 (合同会社地点と共催)	開催	12月18日(金) 19日(土) (2公演)	小ホール	-	255人 (288人)
		太宰治の遺作である未完の小説『グッド・バイ』をモチーフにした演劇を上演しました。太宰が敗戦から死までの間に書いた小説を劇団「地点」が舞台化した作品で、音楽は話題のスリーピースバンド「空間現代」が務めました。			
中川賢一・野村誠ピアノ・コンサート 『愛と知のメシアン！！』 出演：中川賢一、野村誠 (4月12日から延期)	開催	1月7日(木) (1公演)	小ホール	100%	81人 (105人)
		ピアニスト、指揮者、音楽監督など変幻自在の音楽家として国際的に活躍する中川賢一と、名古屋出身の作曲家・野村誠によるコンサートを上演しました。			
【勅使川原三郎 芸術監督就任記念 シリーズ】 新作公演『ペレアスとメリザンド -デュエット版-』	開催	2月21日(日) ～23日(火) (3公演)	小ホール	100%	226人 (249人)
		芸術監督就任記念シリーズの第3弾。当劇場芸術監督としてドビュッシー作曲の同名のオペラ作品をベースとしながら、初の創作を行ない、世界初演の作品を披露しました。			
合計 8事業 22公演（うち再掲 4事業 13公演/うちオンライン配信1事業）、 中止1事業3公演					1,692人 オンライン視聴 85回

(4) その他の公演

愛知県芸術劇場ならではのオルガンコンサートやN響定期公演等をコンサートホール等で行う事業。また、文化庁受託事業として、ジャパン・ライブエール・プロジェクトを実施した。

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
『小さな島とエヴァ』 県外ツアー 制作・出演：テラッピン・パペツトシアター 出演：川上珠来 (各劇場と共催)	中止	①5月2日(土) ②5月4日 (月・祝) ③5月29日(金) (3公演)	①四日市市文化会館(三重県) ②テアトル・デ・ベルヴィル(三重県) ③茨木市市民総合センター(大阪府)	-	-
		2018年に愛知県内8か所をツアーし多くの家族に鑑賞いただいたビジュアル朗読劇を、県外3か所でツアー公演する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
W. A. モーツァルト作曲 オペラ 『バスティアンとバスティエンヌ』 指揮：角田 鋼亮、 演出：太田 麻衣子 管弦楽：愛知室内オーケストラ 出演：伊藤 晴 ほか	中止	6月14日(日) (2公演)	小ホール	-	-
		モーツァルトが12歳で作曲したオペラで、2018年の公演ではオペラファンから初めてオペラを鑑賞された方まで多くの方にご高評いただいた本作を上演する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
新国立劇場バレエ団 『不思議の国のアリス』 振付：クリストファー・ウィールドン 出演：米沢唯、小野絢子 ほか 管弦楽：セントラル愛知交響楽団 制作：新国立劇場バレエ団、オーストラリア・バレエ	中止	6月20日(土) 21日(日) (2公演)	大ホール	-	-
		世界中で愛されている名作を題材にしたバレエ作品を、新国立劇場バレエ団でプリンシパルを務める愛知出身の米沢唯をはじめ、70余名の将来を嘱望されるダンサーたちが披露する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
ナタリア・オシポワ/メルル・タンカード 『Two Feet』 演出・振付：メルル・タンカード 出演：ナタリア・オシポワ	中止	9月18日(金) 19日(土) (2公演)	大ホール	-	-
		海外著名ダンサー/カンパニーの招聘公演として、ピナ・バウシュのヴッパダール舞踊団で活躍したオーストラリアのダンサー・振付家タンカードが英国ロイヤルバレエ団プリンシパルのナタリア・オシポワに振付けた作品を上演する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
【ジャパン・ライブエール・プロジェクト】 『あいちオーケストラフェスティバル』 ①愛知室内オーケストラ ②セントラル愛知交響楽団 ③中部フィルハーモニー交響楽団 ④名古屋フィルハーモニー交響楽団 (②は公益財団法人かすがい市民文化財団、③は幸田町文化振興協会と共催)	9月補正	①11月5日(木) ②12月2日(水) ③1月31日(日) ④2月13日(土) (各1公演)	①④ コンサート ホール ②春日井市民 会館 ③幸田町民 会館	-	①581人 (642人) ②440人 (440人) ③420人 (482人) ④800人 (906人)
		文化庁受託事業として、東海地方を拠点に活動する楽団による本格的なオーケストラ公演を実施しました。当劇場コンサートホールのほか、春日井市や幸田町のホールでも開催し、県内横断的な事業を展開しました。			
【ジャパン・ライブエール・プロジェクト】 『名古屋・尾張プロジェクト』 ①東海ゆかりの能・狂言 ②子どものための演劇公演 ～劇団うりんこ ③ナゴヤ大文化まつり ④創作舞踊劇『名古屋城天守物語』 ⑤黄金ダンスプロジェクト 『月灯りの移動劇場 Peeping Garden』 (公益財団法人名古屋市文化振興事業団に委託)	9月補正	①10月24日(土) (1公演) ②11月8日(日) 15日(日) (2公演) ③11月15日(日) (1公演) ④12月12日(土) 13日(日) (4公演) ⑤12月20日(日) 1月31日(日) 2月7日(日) (9公演)	①名古屋能楽堂 ②名古屋文理大学文化フォーラム、うりんこ劇場 ③日本特殊陶業市民会館 ④名古屋市芸術創造センター ⑤ダンスハウス黄金 442、小牧市市民会館、知多市勤労文化会館	-	①101人 (315人) ②112人 (240人) ③447人 (544人) ④947人 (1,248人) ⑤212人 (231人)
		文化庁受託事業として、名古屋市や尾張地域の公共ホールや民間の劇場などで、大人から子供まで、幅広い世代に向けた多種多様な演目を展開しました。また、地域密着型団体を中心とした公演会についても実施しました。			
【ジャパン・ライブエール・プロジェクト】 『三河プロジェクト』 和太鼓「志多ら」 (公益財団法人豊橋文化振興財団に委託)	9月補正	①10月12日(月) 13日(火) (3公演) ②10月14日(水) (1公演)	①穂の国とよはし芸術劇場PLAT ②豊田市民文化会館	-	①1,528人 (2,313人) ②343人 (851人)
		文化庁受託事業として、豊橋市内の小学生を対象として、北設楽郡東栄町を拠点に活動する和太鼓グループ志多らによる和太鼓コンサート鑑賞会を実施しました。また豊田市内において、高校生以下無料の一般向け公演を実施しました。			

事業名	実施状況	開催日	会場	来場者満足度	来場者数(定員数)
		概要			
クリスマスはオルガンだ！2020 ～ハープとともに～ オルガン：都築由理江 (愛知県芸術劇場オルガニスト) ハープ：田中敦子	開催	12月22日(火) 23日(水) (2公演)	コンサート ホール	-	1,112人 (1,540人)
		恒例のクリスマス・オルガンコンサート。毎年同時期に開催し、他楽器との共演や演奏者の手元・足元を大型スクリーンに投影する演出が人気を集めています。劇場オルガニストの都築由理江がこの季節にちなんだ楽曲を演奏するとともに、今年度は共演者にハープ奏者を迎え、リピーターの増加につなげました。			
オイリーカート×愛知県芸術劇場 共同企画『ジャンボリー』	中止	1月28日(木) ～30日(土) (6公演)	小ホール	-	-
		イギリスで30年以上にわたり活動する劇団の招聘公演で、劇団が長年培ってきたバリアフリーのノウハウを活かした障がいの有無にかかわらず楽しめる体験型のパフォーマンスを上演する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。			
NHK 交響楽団定期演奏会 (愛知県芸術劇場シリーズ) 指揮：鈴木優人 管弦楽：NHK 交響楽団 (NHK 名古屋放送局と共催)	開催	1月31日(日) (1公演)	コンサート ホール	-	763人 (854人)
		当初、指揮を予定していたトゥガン・ソヒエフが新型コロナウイルス感染症による渡航制限のため来日できなくなり、代役として、近年、国内外での活躍が著しい鈴木優人の指揮により、世界トップレベルのオーケストラが行う定期演奏会を上演しました。			
藤原歌劇団公演 オペラ 『ラ・ボエーム』 総監督：折江忠道 演出：岩田達宗 指揮：鈴木恵里奈 出演：伊藤晴、笛田博昭、オクサーナ・ステパニユック、須藤慎吾、森口賢二、伊藤貴之 ほか 管弦楽：セントラル愛知交響楽団 合唱：藤原歌劇団合唱部 (公益財団法人日本オペラ振興会と共催)	開催	2月6日(土) (1公演)	大ホール	-	1,379人 (2,480人)
		日本で最も歴史のあるオペラ団体藤原歌劇団により、2017『カルメン』、2018『ナヴァラの娘/道化師』、2019『リゴレット』に続き、イタリアの作曲家プッチーニの人気オペラ『ラ・ボエーム』を共催で上演しました。当劇場ではコロナ禍以降で最初の本格的なオペラ公演となり、注目を集めました。			

事業名	実施 状況	開催日	会場	来場者 満足度	来場者数 (定員数)
		概要			
オルガン・レクチャー コンサート ヨーロッパと日本のオルガンの歴史 オルガン&解説：三浦はつみ (4月3日から延期)	開催	3月26日(金) (1公演)	コンサート ホール	—	637人 (782人)
		横浜みなとみらいホールで1998年の開館以来ホールオルガニストを務める三浦はつみが、オルガンの歴史を紐解きながら演奏し、映像と解説を交えた初心者向けのコンサートを開催しました。			
合計 7事業 30公演、中止5事業 15公演					9,822人

2 人材養成事業

若手芸術家や文化芸術団体等に活動発表の場を提供したほか、地域の劇場や大学等と連携し、インターンシップから専門職員のスキルアップまで、様々なニーズに応えられるプログラムを実施し、舞台芸術を担う人材を養成する事業。

事業名	実施 状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要		
愛公文セミナー (愛知県公立文化施設協議会と共催)	開催	①7月29日(水) ②9月25日(金) ③11月12日(木) (3回)	アート スペースA	①24館 43名 ②24館 36名 ③26館 41名
		ホール新任職員向けのセミナーを愛知県公立文化施設協議会と共催で開催しました。		
【公開審査会オンライン同時中継】 第20回AAF戯曲賞募集・選考・公開最終審査会	開催	①作品募集 6月2日(火) ~7月31日(金) ②公開最終審査会 1月10日(日)	②アート スペースA、 オンライン	①応募作品数 117作品 ②公開審査会 観覧者 18人 (50人) YouTube中継 アクセス数 473 (最大同時視聴 82)
		「上演」をキーワードにした戯曲賞の募集・選考・審査を行いました。		

事業名		実施 状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要			
アーティスト人材養成事業	(1)合唱団養成プログラム 愛知県芸術劇場合唱団訓練	中止	6月～10月	-	-
	(2)オルガニスト養成プログラム 「集まれ、未来のオルガニスト」	開催	7月23日(木・祝) 26日(日) 8月12日(水) 14日(金) 25日(火) 29日(土) (全15回)	コンサート ホール	5人 (10人)
	(3)振付家・ダンサー養成プログラム ①勅使川原三郎振付ダンス公演 宮沢賢治『風の又三郎』 出演者オーディション 1次募集・審査 ②〃 出演者オーディション 2次募集・審査 ③〃 出演者のためのワークショップ ④〃 公演に向けた出演者の稽古 ⑤〃 公演に向けた出演者の稽古 (オンライン)	開催	①10月11日(日) ②11月28日(土) ③11月28日(土) 29日(日) ④2月24日(水) 25日(木) 26日(金) ⑤3月23日(火) 24日(水)	大リハー サル室	①応募者22人 合格者8人 ②応募者22人 合格者4人 (うち1名辞退) ③11人 ④11人 ⑤9人
	(4)舞台芸術ワークショップファシリ テーター養成プログラム ①【オンライン開催】 広場ラボ番外編～これまでを振り返 ってこれからを考える～ ②アーティストと社会をつなぐ広場 ラボ「ワークショップづくり やって みる？ふりかえる！」 (舞台芸術人材養成ラボ(5)舞台芸術 ワークショップコーディネーターセ ミナーと共同開催)	代替 開催	①9月25日(金) (1回) ②3月6日(土) 14日(日) (1回)	①オンライン ②アトス ペースA	①7人 (30人) ②12人 (20人)
	アーティスト人材養成のための講座やワークショップを系統立てて整理し実施しました。合唱 団養成プログラムは新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止としましたが、勅使 川原三郎振付ダンス公演の出演者を東海地域から募集する等、地域の文化振興に努めました。				

事業名		実施 状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要			
舞台芸術人材養成ラボ 2020-2021	(1) アートマネジメント講座 「舞台芸術インターンシップ」及び「学生インターンシップ」について、対象となる事業が中止となってしまったため、代替として実施。	代替	8月29日(土) 30日(日) 9月6日(日) 21日(月・祝) 22日(火・祝) (全5日)	アート スペースA	48人 (30人)
	(2)①劇場インターンシップ 「舞台芸術インターンシップ」及び「学生インターンシップ」について、対象となる事業が中止となってしまったため、代替として実施。 ②舞台芸術お仕事ナビ	代替 開催	①10月17日 (土) ～11月29日(日) (全14日)、 12月～3月 ②2月27日(土) (1回)	①小ホール ほか ②アート スペースA	①11人 (若干名) ②37人 (50人)
	【一部オンライン同時開催】 (3)劇場職員セミナー (愛知県、名古屋市、名古屋市文化振興事業団と共催)	代替	1月20日(水) ～22日(金) (3日間)	アート スペースA ほか、 オンライン	のべ458人 オンライン受講者 のべ181人
	(4)舞台芸術創造セミナー 『新作クリエイションのための ワークショップ ～俳優×音響～』 ①俳優コース ②音響コース	代替	①9月9日(水) ～13日(日) (5日間) ②9月10日(木) ～13日(日) (4日間)	小ホール	①19人 (10人) ②6人 (5人)
	(5)【再掲】舞台芸術ワークショップファシリテーター養成プログラム ①【オンライン開催】 広場ラボ番外編～これまでを振り返ってこれからを考える～ ②アーティストと社会をつなぐ広場ラボ「ワークショップづくり やってみる？ふりかえる！」 (舞台芸術人材養成ラボ(5)舞台 芸術ワークショップコーディネーターセミナーと共同開催)	代替 開催	①9月25日(金) (1回) ②3月6日(土) 14日(日) (1回)	①オンライン ②アートの スペースA	①7人 (30人) ②12人 (20人)
	新型コロナウイルス感染症の影響により当初の計画とは異なるものもありましたが、今後舞台芸術の仕事に就きたい学生を対象とするキャリア講座プランなどについて系統立てて実施しました。				
合計 10事業(うち再掲1事業/うちオンライン配信4事業)、中止1事業					1,016人 オンライン視聴 473回

3 普及啓発事業

舞台芸術の魅力や劇場の楽しさに触れてもらう取組みとして、次代を担う子どもたちや一般の方々を対象に、レクチャー、ワークショップ、学校単位で子どもたちを招待する学校公演等の様々なプログラムを展開する事業。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により学校単位の事業は全て中止となり、希望者による個人参加のゲネプロ招待のみ実施した。

事業名		実施状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
概要					
劇場と子ども7万人プロジェクト	愛知県芸術劇場舞台芸術鑑賞教室 2020 『小さな島とエヴァ』 製作・出演：テラッピン・パペットシアター 出演：川上珠来 ほか (各市ほかと共催)	中止	①5月8日(金) (1公演) ②5月22日(金) (2公演) ③5月27日(水) (2公演)	①新城市 ②北名古屋市 ③西尾市	-
	愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2020 W. A. モーツァルト作曲 オペラ 『バスティアンとバスティエヌ』 (碧南市教育委員会と共催)	中止	6月19日(金) (1公演)	碧南市芸術文化ホール エメラルドホール	-
	愛知県芸術劇場オペラ鑑賞教室 2020 ニッセイ名作シリーズ 2020 ロッシーニ作曲 オペラ 『セビリアの理髪師』 (ニッセイ文化振興財団と共催)	中止	12月3日(木) (1公演)	大ホール	-
	県内の小中学生を海外招聘公演や本格的なオペラ鑑賞に招待する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。				
高校生ゲネプロ招待 『朽ちた蔓延る』		開催	11月6日(金) (1回)	小ホール	13人
		将来の観客を育成するために、ゲネプロへの参加を希望する高校生を無料招待しました。			

事業名		実施 状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
乳幼児と保護者の ためのプログラム	【再掲】 【オンライン開催】 赤ちゃんと踊ろう オンライン ファシリテーター： プロジェクト大山	代替	7月25日(土) (1回)	オンライン	11人 (20人)
	【再掲】 THE オルガン DAY 2020 幼児向け オルガン；勝山雅世 打楽器：村本貫太郎	開催	7月30日(木) (1公演)	コンサート ホール	129人 (798人)
	【再掲】 『よちよちの部屋』 製作・出演：ディブウィク・ダン スカンパニー	中止	8月5日(水) (3公演)	大リハーサル室	-
	【オンライン開催】 多文化子育てサロン・ワークショ ップ 『赤ちゃんと一緒にダンス！』 ファシリテーター：プロジェクト 大山 (愛知県と共催)	代替	12月20日(日) (1回)	オンライン	11組19人 (20組)
	未就学児連れで参加できるワークショップを開催しました。				
入門者のためのプログラム	カフェトーク ゲスト×観客で考える舞台の楽 しみ方	中止	-	-	-
	ダンス・セレクション関連 ①セルフポートレート撮影ワー クショップ 「Hours」 ②身体の知覚ワークショップ	開催	①② 10月4日(日) (各1回)	大リハーサル室	①5人 (10人) ②13人 (10人)
	アーツスペシャリストによる連 続講座 『「ラ・ボエーム」に見る人間関 係とオペラスタッフのコミュニ ケーション」 (愛知県図書館と共催)	開催	10月28日(水) (1回)	愛知県図書館	20人 (30人)
	舞台芸術に触れてみたい人のために、初心者を対象としたワークショップなどを開催しまし た。				

事業名		実施 状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
			概要		
より深く楽しみたいファンを増やすためのプログラム	『白痴』関連 勅使川原三郎ドローイング展 『見知らぬ国』	開催	7月14日(火) ～19日(日)	アート スペースX	261人
	【オンライン開催】 鑑賞&レビュー講座 2020 オンライン・ゼミ 前期： ①批評とは何か？ ②舞台芸術を言葉にする ③読みたくなる・読ませたくなる ライティング ④知っておきたいダンス史・批評 史 後期： ⑤ミニセレ・実践編 ナビゲーター：竹田真理 (ダンス批評家) ゲスト講師：萩原雄太 (演出家・ライター)	代替	①7月1日(水) ②7月22日(水) ③8月5日(水) ④8月19日(水) ⑤10月3日(土) 10月15日(木) 11月26日(木) 12月24日(木) (各1回)	オンライン、 ⑤ビデオルーム (10月3日のみ)	①22人(30人) ②16人(30人) ③15人(30人) ④19人(30人) ⑤3人(5人)
	『調べ 一笙とダンスによる』関 連 「宮田まゆみ 笙に関するレク チャー」	開催	11月22日(日) (1回)	大リハーサル室	64人 (70人)
	第20回AAF戯曲賞関連 映像配信『朽ちた蔓延る』を観る 会 ナビゲーター 篠田千明(『朽ちた蔓延る』演 出) 田中博之(映像撮影・編集)	開催	1月9日(土) (1回)	アート スペースA	10人 (30人)
	ダンス・スコレ特別講座シンポ ジウム 「踊る女性の身体」 ドイツ・イタリア・ロシアのアヴ ァンギャルド舞踊	開催	3月27日(土) (1回)	アート スペースA	116人 (120人)
	鑑賞公演や創作公演に関連した内容を、より深く体験し、広く深い知識を持って鑑賞できるようになるための実演付レクチャーや講座、ワークショップを行いました。				

事業名		実施 状況	開催日	会場	参加者数 (募集定員)
		概要			
障がい者及び劇場に来づらい人のためのプログラム	【視覚障がい者対応】 点字翻訳パンフレット配布 ①オルガン NIGHT ②クリスマスはオルガンだ！ 2020	開催	①7月29日(水) ②12月23日(水)	コンサート ホール	①0冊 ②2冊
	【視覚障がい者対応】 公演前説明会 クリスマスはオルガンだ！2020	開催	12月23日(水) (1回)	コンサート ホール	2人 (10人)
	【一部オンライン同時開催】 ソーシャルインクルージョン・ワークショップ 2021～アートとコミュニケーションについて考え・体験し・話す3日間～ ①ワークショップとは？ ②情報保障とは？ ③そもそも障害とは？ (「1公演事業(4)その他公演」のオイリーカート×愛知県芸術劇場共同企画『ジャンボリー』の代替として実施)	代替	①1月28日(木) ②1月29日(金) ③1月30日(土) (3回)	小ホール、 オンライン	①16人 (30人) オンライン受講者 26人 ②12人 (30人) オンライン受講者 26人 ③17人 (30人)
	【聴覚障がい者対応】 字幕設置 オペラ『ラ・ボエーム』	開催	2月6日(土)	大ホール	不明
	視覚や聴覚に障がいがある人が公演を楽しめるように、特別な解説やサポートを実施したほか、公演事業で実施予定だった『ジャンボリー』が新型コロナウイルス感染症の影響により中止になったことから、代替としてソーシャルインクルージョンに関するワークショップを開催しました。				
在住外国人ののためのプログラム	【再掲】【オンライン開催】 多文化子育てサロン・ワークショップ 『赤ちゃんと一緒にダンス！』 ファシリテーター：プロジェクト大山 (愛知県と共催)	代替	12月20日(日) (1回)	オンライン	11組19人 (20組)
	あいち多文化共生タウンミーティング2020 in とよた 演劇★ ワークショップ～愛知県で活躍している外国ルーツの方のお話を聴いてみよう！演じてみよう！～(愛知県と共催)	中止	1月16日(土) (1回)	豊田市民文化 会館大会議室	—
	多文化共生社会の実現に向けて、英術文化を通じて交流できるプログラムを実施しました。なお、あいち多文化共生タウンミーティングについては、新型コロナウイルス感染症の影響によりやむなく中止しました。				
合計 16事業(うち再掲4事業 / うちオンライン配信5事業)、中止6事業					854人

3 愛知芸術文化センターの管理運営等

芸文センターの指定管理者として、芸文センター全体の広報活動や、アートプラザの運営、愛知県美術館を含む芸文センター全体の施設管理を行うことにより、県民の皆様が楽しく身近に芸術文化に触れ、また発信できる場と機会を提供しました。

また、利用者の安全性の確保を第一に考えた防火・防災体制の強化を行うとともに、安心して利用していただける施設環境の整備に努めました。

1 広報・マーケティング

(1) 情報誌「AAC」の発行

芸文センターが実施する芸術文化事業の紹介や地域の芸術文化活動に関する情報等を掲載した情報誌を発行しました。手に取ってもらいやすい情報誌を目指すとともに、ウェブブックをインターネット上で公開しました。

配布先：県内外の劇場・ホール、美術館、図書館、その他公共施設、民間商業施設等

<AAC 発行状況>

号	発行月	発行部数	概要
Vol. 104	R2. 6	20,000 部	ファミリー・プログラム/ミヤギフトシ『音と変身/Sounds, Metamorphoses』
Vol. 105	R2. 9	20,000 部	今秋、体験すべき“ミニセレ”3選/古代エジプト展
Vol. 106	R2. 12	20,000 部	藤原歌劇団公演『ラ・ボエーム』/GENKYO 横尾忠則
Vol. 107	R3. 3	20,000 部	イスラエル・ガルバン『春の祭典』/トライアローグ

(2) マスコミ等を通じた発信

芸術劇場で行われる各種公演や自主事業等について多くの人に周知するため、マスコミ等を通じて情報発信を行いました。

全 404 件（告知 122 件、記事 175 件、広告 86 件、その他 21 件）

(3) 多様な情報発信

各種の媒体や仕組みの特性を生かし、劇場主催公演をはじめとした各イベントの情報を分かりやすくタイムリーに提供しました。また、中部芸術文化記者クラブの事務局を担い、県内外の美術館等の情報発信を支援しました。

<SNS の状況>

媒体	発信内容の対象	導入時期	アクセス数等
Facebook	芸術劇場	H26. 4	読者 3,506 人 訪問者 2,293,634 人
Twitter	芸術劇場	H26. 4	読者 2,891 人
YouTube	芸術劇場	H26. 10	チャンネル登録者 309 人 視聴回数 317,745 回

(4) 販売促進

<愛知県芸術劇場メンバーズ>

主催公演の情報などを直接お伝えするダイレクトメールや、主催公演チケットをインターネット上で購入できる仕組みを整え、運用しています。

※愛知県芸術劇場メンバーズ 会員数 12,578 名

(5) 調査・研究

劇場及びアールスペース利用者を対象とした満足度調査を実施し、ハード・ソフト両面における劇場の使いやすさやニーズを把握し、施設利用サービスのさらなる改善に努めています。令和2年度は、より正確な定量分析に資するよう、従来の4段階評価から6段階評価に変更しました。また、劇場主催公演の際に公演来場者アンケートを実施し、公演に対する評価や来場者属性を把握、分析して、今後の企画制作に反映させていきます。

(6) 共有スペースの活用

オアシス21と繋がる地下連絡通路やフォーラムエリアの壁面、エレベーターなどの共有スペースに、当事業団や愛知県美術館が展開する事業に関する大型ポスターを設置し、芸文センターの活性化を図りました。

2 アートプラザの運営

美術、音楽、演劇などに関する多様な芸術文化情報を、様々な媒体を通じて県民に提供する情報発信拠点として、県民の皆様に気軽に利用していただけるような運営に努めました。

※令和2年度入場者数 88,533人

3 施設管理・防災

(1) 施設の保守・維持管理

事故の未然防止が最大の安全対策であるという考え方のもと、スタッフや委託業者による日常点検や各種設備の保守点検を計画的に行いました。芸文センター全体の警備や清掃、空調管理など、安全かつ快適な場所を提供するために必要な業務についても、委託業者と連携を密にしながら適切に実施し、利用者からのご要望にも丁寧に対応しました。

また、「施設管理連絡会議」（県と事業団で組織）を毎月定例開催し、指定管理業務の効率的な運営や利用者サービスの調整、施設管理上の問題点やトラブル等の共有等を図りました。

(2) 防災体制

消防法をはじめとする関係法令を順守するとともに、組織横断的に「防災プロジェクトチーム」を組織し、スタッフの災害対応に係る意識、知識、スキルの継続的な向上を図りました。
＜令和2年度防災PT＞

開催回数：11回（月1回、ただし5月は芸文センター臨時休館により開催せず）

また、非常時に来場者が円滑に避難できるよう、芸文センター内のすべての避難階段に、「E階段」、「F階段」など各階段の名称を示すサインを設置しました。（特別避難階段は令和元年度実施）

○ 避難経路ツアー及び利用頻度の高いユーザーとの意見交換会の開催

建物構造の複雑な芸文センターの避難経路の把握、及び避難誘導にあたっての問題点の洗い出しを目的とした「避難経路ツアー」を、過去6年間に引き続き開催しました。加えて、劇場貸館の利用頻度の高いユーザーを交えて防災に関する意見交換を行いました。

開催時期：10/5(月)

参加人数：芸文センター内で勤務する職員(委託業者含む)及び劇場ユーザーなど計76人

○ 消防・防災訓練、防災・防火講習の実施

災害発生時の対応能力向上を目的に、消防・防災訓練及び防火・防災講習を実施しました。

<消防・防災訓練>

2/1(月) 地震発生を想定した消防・防災訓練(120人)

<防火・防災講習>

8/27(木) 消火器・屋内消火栓の使用方法(52人)

9/1(火)、11/20(金) 心肺蘇生法、AED使用方法(18人、15人)

※名古屋市消防局 応急手当研修センター指導員による講習

<その他>

9/1(火) あいちシェイクアウト訓練に参加(37人)

11/12(木) NHKビル・オアシス21との合同防災訓練参加(約40人)

3/8(月) 愛知県美術館が主催する消防・防災訓練に参加

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

皆様に芸術劇場に安心してご来場いただけるよう、国や県、全国公立文化施設協会のガイドラインをベースとし、当劇場の利用者、スタッフ及び県内劇場関係者で構成した「愛知県芸術劇場の感染症対策に関する意見聴取会」でのご意見や、全国の劇場の事例を参考に、愛知県芸術劇場独自のガイドラインである「新型コロナウイルス感染拡大予防対策のお願い」を作成しました。

○ 芸術劇場各ホールの収容率

- ・自主事業の実施にあたっては、国や愛知県等の基準に沿った収容率を設定
- ・貸館事業においては、国や愛知県等の基準に沿って開催するよう主催者に要請

○ 芸文センター内での対応

- ・センター内の清掃・消毒の徹底
- ・手すり、ドア、トイレ、ホール座席等について抗菌コート施工
- ・フォーラム、エレベーター、トイレ等に足元サイン設置
- ・総合案内、館内各施設等にアルコール消毒剤の設置
- ・受付窓口にビニールシートやクリアパネルを設置
- ・スタッフのマスク着用、手洗い、健康チェック など

○ 来館者へのお願い

- ・手指消毒、マスク着用
- ・風邪症状のある方、体調がすぐれない方及び海外から入国後14日以内の方の来館を控えていただく
- ・他のお客様と間隔をとっていただく など

○ 貸館としての対応、自主事業実施時の対応

- ・貸館利用者向けガイドライン「新型コロナウイルス感染拡大予防対策のお願い」、自主事業用「プロダクション側のガイドライン」を作成
- ・サーモグラフィーカメラ・非接触型体温計導入、来場者体温チェック
- ・公演前後及び休憩中の客席扉開放、空調の外気導入増
- ・カウンター用飛沫防止パネル貸出し
- ・公演時のチケットもぎり、イベント開催、物品販売の自粛要請
- ・クローク、ブランケット貸出、ビュッフェの営業停止
- ・来場者の連絡先把握 など



4 他団体との連携・交流

(1) 近隣施設との交流

近隣商業施設との会合に積極的に参加し、情報交換に努めています。

＜連携先＞

North Five

栄公園地区連携協議会

久屋大通発展会

久屋大通東南地区発展会

(2) 圏域の公立文化施設とのつながり

全国公立文化施設協会東海北陸支部及び愛知県公立文化施設協議会の事務局となり、地域の公立文化施設職員の知識・技術向上や情報共有を図るため、実務研修や研究会を開催しました。

(3) 全国の劇場・音楽堂とのつながり

自主事業や舞台技術について全国の劇場・音楽堂等と情報共有したり、名古屋市内のホールと施設利用サービス等について情報共有したりしました。

＜連携先＞

全国公立文化施設協会

劇場・音楽堂等連絡協議会

公共劇場舞台技術者連絡会

名古屋ホール運営協議会 ほか

(4) 視察・施設見学の受け入れ

全国の劇場関係者や県内の小学・中学・高校生の施設見学を受け入れました。

※計 10 件 76 名

(5) 職員の派遣

文化庁、公益社団法人全国公立文化施設協会、一般財団法人地域創造、愛知県、名古屋市、豊川市、豊橋市、安城市、長久手市、中濃公立文化施設協議会、公益財団法人豊田市文化振興財団、公益財団法人静岡県文化財団、公益財団法人神奈川県芸術文化財団、公益財団法人熊本県立劇場、名古屋芸術大学、日本音楽芸術マネジメント学会、アサヒグループ芸術文化財団、特定非営利活動法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワークに専門性の高い職員を派遣し、文化振興プランの策定や劇場運営のアドバイス等を行いました。

(6) 海外芸術交流事業

「AAPPAC」(アジア太平洋パフォーミングアーツセンター連盟)に加盟しています。令和2年度は、台湾で開催予定だった対面式での総会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、9月21日に開催されたオンライン総会に参加しました。また、7月9日、8月7日、9月11日、10月30日にはオンラインによる研究会が実施され、8月7日にはコロナ禍における愛知県芸術劇場の取組みを発表しました。

5 その他

新型コロナウイルスへの感染リスクを低減させ、芸文センター各施設の機能を維持するため、愛知県における職員の勤務体制も参考にして、感染防止対策の徹底や、在宅勤務及び時差勤務を実施することなどを内容とした職員向けの通知を発出しました。

- ・毎朝の体温測定、健康チェックの上、発熱等の症状があれば自宅療養とする
- ・出勤時、業務中は原則マスク着用し、手洗いをしてから執務室に入室
- ・会議を行う場合は広い場所を選定し、換気し、配席は隣と一定の距離をとる
- ・在宅勤務実施の推奨及び時差勤務の拡充 など

Ⅲ 収益事業

公益事業に資するため、複合施設の特性を活かした収益事業を行いました。

1 ミュージアムショップ（10 階）

美術館企画展やコレクション展の内容に合わせて、図録、絵はがき、オリジナルグッズ等の販売を行いました。

愛知県美術館及び芸文センターの認知度を高めるため、美術館所蔵作品をモチーフにしたオリジナル商品を販売するとともに、来場者数や客層、企画展関連イベント等を踏まえた商品展開を徹底し、売上の増加を図りました。

2 アートショップ（地下 2 階）

芸術関連の書籍、CD、雑貨、芸文センターで開催された展覧会やイベントのカタログなど、文化芸術に関する商品の販売を行いました。

3 プレイガイド（地下 2 階）

事業団の主催事業をはじめ、近隣の劇場・ホールで行われる各種公演・美術展などのチケット販売を行いました。

IV 法人運営

1 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

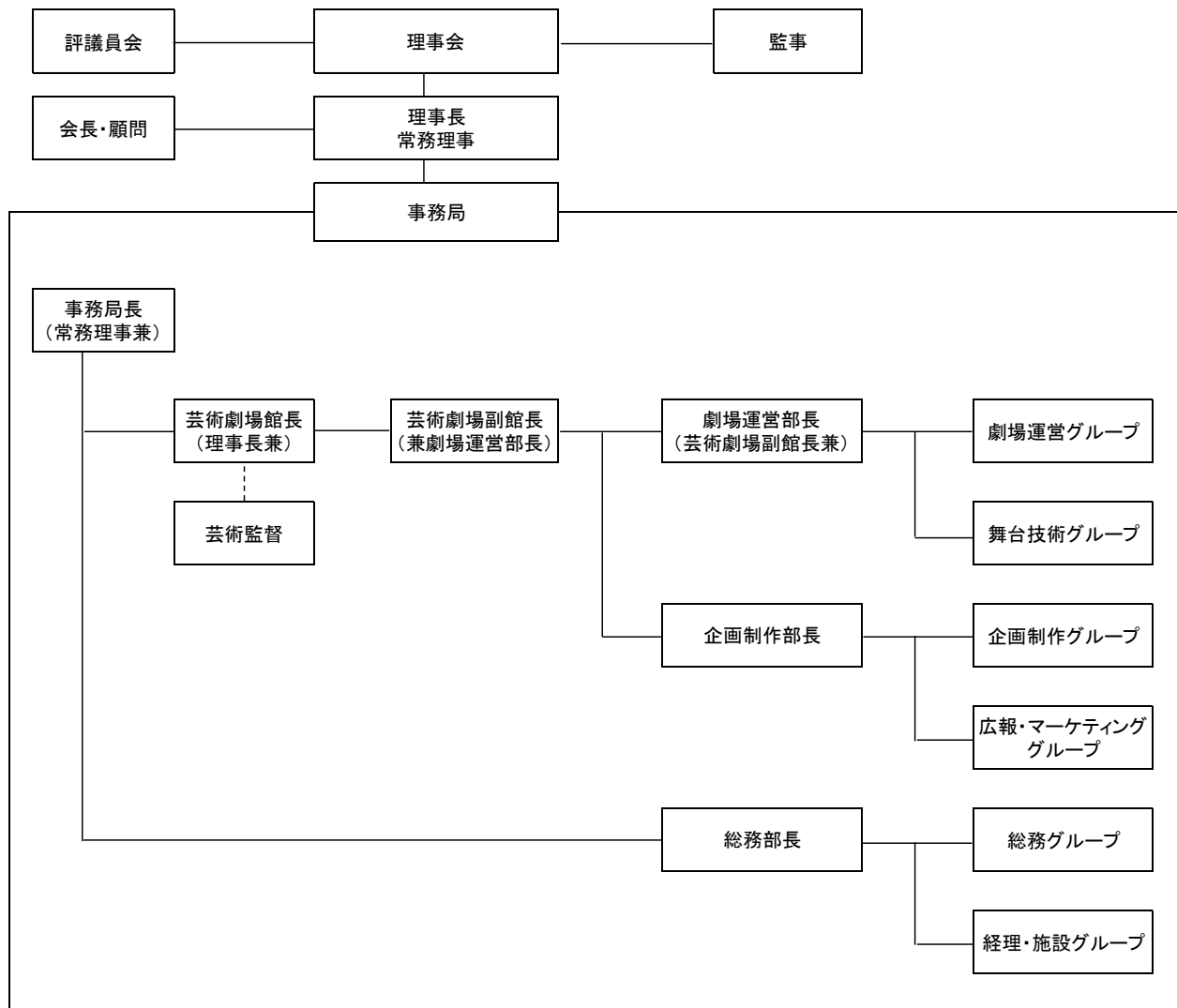
会議名	開催日	議案
臨時理事会	5/27(水)	1 令和2年5月臨時評議員会の開催について
通常理事会	6/11(木)	1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度収支決算について 3 令和2年度事業計画の変更について 4 令和2年度収支補正予算について 5 令和2年6月定時評議員会の開催について
臨時理事会	7/1(水)	1 代表理事(理事長)の選任について 2 常務理事及び事務局長の選任について
臨時理事会	9/16(水)	1 令和2年度事業計画の変更について 2 令和2年度収支補正予算について 3 令和2年9月臨時評議員会の開催について
通常理事会	3/9(火)	1 令和3年度事業計画について 2 令和3年度収支予算について 3 公益財団法人愛知県文化振興事業団諸規程の改正について 4 臨時評議員会の開催について

(2) 評議員会

会議名	開催日	議案
臨時評議員会	5/29(金)	1 評議員の選任について 2 評議員の選任について 3 評議員の選任について 4 評議員の選任について 5 評議員の選任について
定時評議員会	6/30(火)	1 令和元年度事業報告について 2 令和元年度収支決算について 3 令和2年度事業計画の変更について 4 令和2年度収支補正予算について 5 理事の選任について 6 監事の選任について 7 評議員の選任について
臨時評議員会	9/18(金)	1 令和2年度事業計画の変更について 2 令和2年度収支補正予算について 3 理事の選任について
臨時評議員会	3/24(水)	1 令和3年度事業計画について 2 令和3年度収支予算について

2 組織体制

(1) 令和 2 年度組織体制



(2) 職員数

常勤役員	2 名
職員	34 名
嘱託員	10 名
計	46 名

V 資料

別表 1 愛知県芸術劇場の利用状況

別表 2 アートスペース（催事室）の利用状況

愛知県芸術劇場の利用状況

別表 1

愛知県芸術劇場

(1) 時間帯別利用状況、入場者数

ア 大ホール（臨時休館：令和2年4月25日～6月1日、以下同）

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数							入場者数	元年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	利用率 (B/A)	入場者数
2年 4月	16	0	0.0	—	—	—	—	—	—	(—)	0	100.0	7,542
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(—)	0	65.2	24,854
6月	23	0	0.0	—	—	—	—	—	—	(—)	0	91.3	31,144
7月	21	3	14.3	—	—	—	1	—	2	(—)	3	87.5	26,513
8月	25	3	12.0	—	—	—	1	—	2	(—)	3	88.9	35,921
9月	26	3	11.5	—	—	—	—	—	3	(—)	3	95.0	29,649
10月	23	9	39.1	—	—	—	—	—	9	(3)	9	89.7	29,540
11月	19	6	31.6	—	—	—	—	—	6	(2)	6	87.0	23,814
12月	17	5	29.4	—	—	1	—	—	5	(2)	6	90.5	27,526
3年 1月	16	5	31.3	1	—	—	1	—	3	(1)	5	85.7	26,185
2月	21	10	47.6	—	—	—	—	1	9	(—)	10	91.3	24,627
3月	18	11	61.1	—	—	—	—	—	11	(2)	11	0.0	0
計	225	55	24.4	1	0	1	3	1	50	(10)	56	80.6	287,315
構成比				1.8%	—	1.8%	5.4%	1.8%	89.3%		100.0%		
元年度実績	263	212	80.6	0	0	5	7	2	199	(45)	213		

(注) 1 利用日数は、1日に複数の利用（例：午前1件と午後1件）があった場合でも1日としている。

2 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。

3 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

4 以下イ～オの表においても、上記1，2，3のとおりである。

イ コンサートホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数							入場者数	元年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・午後	午後・夜間	全日	時間外	計	利用率 (B/A)	入場者数
2年 4月	17	0	0.0	—	—	—	—	—	—	(—)	0	85.7	26,661
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(—)	0	72.4	20,058
6月	23	3	13.0	1	—	2	—	—	—	(—)	3	78.3	22,149
7月	23	12	52.2	1	—	1	—	2	8	(—)	12	79.2	19,874
8月	23	7	30.4	—	—	3	1	1	2	(—)	7	74.1	16,370
9月	27	5	18.5	—	—	—	1	1	3	(—)	5	65.4	15,326
10月	27	8	29.6	—	—	—	1	1	6	(—)	8	92.0	19,821
11月	23	14	60.9	2	—	2	4	2	6	(—)	16	95.8	25,288
12月	21	17	81.0	1	—	1	—	2	13	(—)	17	95.8	27,644
3年 1月	17	12	70.6	1	—	—	1	1	9	(—)	12	100.0	17,788
2月	19	11	57.9	1	—	—	—	2	8	(—)	11	82.4	15,965
3月	24	16	66.7	1	1	1	2	—	11	(—)	16	4.2	294
計	244	105	43.0	8	1	10	10	12	66	(—)	107	76.1	227,238
構成比				7.5%	0.9%	9.3%	9.3%	11.2%	61.7%		100.0%		
元年度実績	280	213	76.1	7	2	9	38	35	134	(8)	225		

ウ 小ホール

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数	元年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計		利用率 (B/A)	入場者数
2年 4月	17	1	5.9	—	—	—	—	1	—	(—)	1	47	76.2	2,474
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(—)	0	0	62.1	2,636
6月	24	2	8.3	—	—	—	—	—	2	(—)	2	0	68.0	2,372
7月	24	19	79.2	—	—	—	—	—	19	(—)	19	1,233	58.3	2,408
8月	25	14	56.0	—	—	—	—	—	14	(—)	14	750	69.0	2,727
9月	28	20	71.4	—	—	—	—	—	20	(—)	20	1,117	78.6	2,846
10月	26	26	100.0	—	—	—	—	1	25	(—)	26	813	85.2	1,712
11月	27	20	74.1	1	—	—	—	1	19	(—)	21	1,272	84.6	3,949
12月	23	21	91.3	—	—	—	—	—	21	(—)	21	1,603	54.2	1,376
3年 1月	23	18	78.3	1	—	1	1	1	15	(—)	19	731	100.0	1,339
2月	23	18	78.3	—	—	—	—	—	18	(—)	18	1,196	92.3	2,323
3月	22	14	63.6	—	—	—	—	2	12	(—)	14	942	30.4	836
計	262	173	66.0	2	0	1	1	6	165	(—)	175	9,704	71.4	26,998
構成比				1.1%	—	0.6%	0.6%	3.4%	94.3%		100.0%			
元年度実績	301	215	71.4	0	0	5	20	9	181	(2)	215	26,998		

エ 大リハーサル室

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数	元年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計		利用率 (B/A)	入場者数
2年 4月	20	0	0.0	—	—	—	—	—	—	(—)	0	0	100.0	0
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(—)	0	0	55.2	45
6月	25	2	8.0	—	1	—	—	—	1	(—)	2	0	88.0	360
7月	29	10	34.5	—	—	—	—	—	10	(—)	10	0	55.2	245
8月	27	5	18.5	—	1	—	—	1	3	(—)	5	40	79.3	785
9月	27	11	40.7	—	—	1	2	—	8	(—)	11	93	76.9	2,713
10月	28	16	57.1	—	1	2	—	2	12	(—)	17	120	96.4	811
11月	26	13	50.0	—	—	—	1	1	11	(—)	13	88	50.0	381
12月	22	14	63.6	—	1	1	3	1	9	(—)	15	47	70.8	317
3年 1月	26	17	65.4	1	—	2	3	3	9	(—)	18	506	82.6	671
2月	25	23	92.0	—	—	1	2	1	19	(—)	23	48	50.0	214
3月	26	9	34.6	—	—	1	3	1	4	(—)	9	152	12.5	150
計	281	120	42.7	1	4	8	14	10	86	(—)	123	1,094	65.8	6,692
構成比				0.8%	3.3%	6.5%	11.4%	8.1%	69.9%		100.0%			
元年度実績	295	194	65.8	15	9	9	19	24	131	(—)	207	6,692		

オ 中リハーサル室

利用月	利用可能日数 (A)	利用日数 (B)	利用率 (B/A)	利 用 件 数								入場者数	元年度実績	
				午前	午後	夜間	午前・ 午後	午後・ 夜間	全日	時間外	計		利用率 (B/A)	入場者数
2年 4月	20	1	5.0	—	1	—	—	—	—	(—)	1	0	85.7	100
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	(—)	0	0	93.1	91
6月	25	3	12.0	1	—	—	2	—	—	(—)	3	55	96.0	0
7月	29	0	0.0	—	—	—	—	—	—	(—)	0	0	100.0	286
8月	28	5	17.9	1	2	—	—	—	2	(—)	5	25	100.0	238
9月	27	6	22.2	—	2	—	3	—	1	(—)	6	15	96.3	0
10月	28	12	42.9	1	2	3	1	1	6	(—)	14	410	100.0	0
11月	25	19	76.0	3	4	2	3	2	8	(—)	22	362	100.0	0
12月	22	12	54.5	2	5	2	4	—	1	(—)	14	150	95.8	72
3年 1月	26	12	46.2	1	6	1	3	—	2	(—)	13	184	100.0	146
2月	21	11	52.4	2	5	3	—	2	2	(—)	14	95	88.5	150
3月	27	20	74.1	2	8	—	3	2	5	(—)	20	206	12.5	0
計	278	101	36.3	13	35	11	19	7	27	(—)	112	1,502	90.1	1,083
構成比				11.6%	31.3%	9.8%	17.0%	6.3%	24.1%		100.0%			
元年度実績	302	272	90.1	31	33	19	18	25	190	(—)	316	1,083		

(2) 催物別利用状況

ア 大ホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽				舞 踊			演 劇			映画	その他の 芸能	講演会	式典等	計
	クラシック		その他の 音楽	邦楽	バレエ	その他の 洋舞	日本 舞踊	伝統 演劇	ミュー ジカル	一般 演劇					
	オペラ	その他													
2年 4月	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
5月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
6月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
7月	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
8月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	－	－	3
9月	－	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	3
10月	－	2	5	－	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9
11月	－	－	4	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	6
12月	－	4	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	6
3年 1月	－	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	5
2月	4	－	2	－	－	－	－	－	4	－	－	－	－	－	10
3月	－	－	3	3	－	－	－	－	5	－	－	－	－	－	11
計	4	7	19	6	2	－	－	－	12	－	－	3	1	2	56
構成比	7.1%	12.5%	33.9%	10.7%	3.6%	－	－	－	21.4%	－	－	5.4%	1.8%	3.6%	100.0%
	64.3%				3.6%			21.4%			10.7%				100.0%

(注) 構成比は、全体に占める割合(%)を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。以下の表においても、同じである。

イ コンサートホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽											演劇	その他の 芸能	講演会 等	計
	クラシック								軽音楽	その他の 音楽	邦楽				
	オーケ ストラ	合唱	吹奏楽	室内楽	声楽	ピアノ	オルガン	その他							
2年 4月	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 0
5月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
6月	－	－	－	－	－	－	3	－	－	－	－	－	－	－	3
7月	5	－	－	－	－	1	6	－	－	－	－	－	－	－	12
8月	1	1	－	－	－	1	4	－	－	－	－	－	－	－	7
9月	3	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	1	5
10月	5	－	1	－	－	－	－	2	－	－	－	－	－	－	8
11月	6	1	－	1	－	－	7	1	－	－	－	－	－	－	16
12月	7	－	－	1	1	2	5	1	－	－	－	－	－	－	17
3年 1月	6	－	－	2	－	－	－	－	－	2	1	－	－	1	12
2月	5	2	1	－	－	1	1	－	－	1	－	－	－	－	11
3月	8	1	－	－	－	2	5	－	－	－	－	－	－	－	16
計	46	5	2	4	1	8	31	4	0	3	1	0	0	2	107
構成比	43.0%	4.7%	1.9%	3.7%	0.9%	7.5%	29.0%	3.7%	－	2.8%	0.9%	－	－	1.9%	100.0%
	94.4%								3.7%			1.9%			

ウ 小ホール

利用月	催 物 別 利 用 件 数														
	音 楽				舞 踊			演 劇			演芸	映画	その他の 芸能	講演会 等	計
	クラシック	歌謡曲	その他の 音楽	邦楽	現代 舞踊	その他の 洋舞	日本 舞踊	伝統 演劇	ミュージ カル	一般 演劇					
2年 4月	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 －	件 1	件 －	件 －	件 －	件 1
5月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
6月	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	2
7月	1	－	2	－	6	－	－	－	－	10	－	－	－	－	19
8月	－	－	1	－	－	1	－	－	－	11	1	－	－	－	14
9月	－	－	－	－	2	－	－	－	－	12	1	－	－	5	20
10月	－	－	1	－	6	－	16	－	－	2	1	－	－	－	26
11月	－	1	1	－	3	－	1	2	－	11	1	－	1	－	21
12月	－	－	1	－	6	－	－	－	－	13	1	－	－	－	21
3年 1月	3	－	－	－	－	2	－	－	－	2	－	6	2	4	19
2月	－	－	1	－	7	3	－	－	－	4	－	－	3	－	18
3月	1	－	－	－	－	3	－	－	3	2	2	－	3	－	14
計	5	1	7	0	30	9	17	2	3	69	8	6	9	9	175
構成比	2.9%	0.6%	4.0%	－	17.1%	5.1%	9.7%	1.1%	1.7%	39.4%	4.6%	3.4%	5.1%	5.1%	100.0%
	7.4%				32.0%			42.3%			18.3%				100.0%

エ 大リハーサル室

利用月	形 態 別 利 用 件 数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
2年 4月	件 －	件 －	件 －	件 －	件 0
5月	－	－	－	－	0
6月	－	2	－	－	2
7月	－	10	－	－	10
8月	－	4	1	－	5
9月	5	3	1	2	11
10月	－	10	4	3	17
11月	2	5	2	4	13
12月	2	12	－	1	15
3年 1月	－	14	4	－	18
2月	－	19	3	1	23
3月	－	6	1	2	9
計	9	85	16	13	123
構成比	7.3%	69.1%	13.0%	10.6%	100.0%

オ 中リハーサル室

利用月	形 態 別 利 用 件 数				
	控室	練習	小発表会	その他	計
2年 4月	件 －	件 1	件 －	件 －	件 1
5月	－	－	－	－	0
6月	－	1	2	－	3
7月	－	－	－	－	0
8月	－	4	1	－	5
9月	－	4	1	1	6
10月	－	10	4	－	14
11月	4	12	5	1	22
12月	－	9	5	－	14
3年 1月	－	8	2	3	13
2月	1	11	2	－	14
3月	1	16	2	1	20
計	6	76	24	6	112
構成比	5.4%	67.9%	21.4%	5.4%	100.0%

アーツスペース（催事室）の利用状況

別表2

(1) 利用室別利用状況、入場者数（臨時休館：令和2年4月25日～6月1日）

ア 会議室利用

利用月	A室				B室				C室				D室				E・F室				合計				入場者数 (A～E・F)
	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	
2年 4月	21	1	4.8	1	21	1	4.8	1	21	4	19.0	4	21	0	0.0	0	21	2	9.5	2	105	8	7.6	8	157
5月	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0	0
6月	25	9	36.0	11	25	1	4.0	1	25	8	32.0	8	25	9	36.0	10	25	9	36.0	9	125	36	28.8	39	781
7月	25	10	40.0	10	26	3	11.5	3	26	10	38.5	10	25	13	52.0	13	24	9	37.5	9	126	45	35.7	45	888
8月	22	5	22.7	5	26	0	0.0	0	26	3	11.5	3	26	7	26.9	7	26	9	34.6	11	126	24	19.0	26	769
9月	24	9	37.5	9	26	2	7.7	2	26	7	26.9	9	26	7	26.9	7	26	14	53.8	14	128	39	30.5	41	1,065
10月	27	8	29.6	8	27	2	7.4	2	27	9	33.3	10	27	9	33.3	10	27	15	55.6	16	135	43	31.9	46	1,331
11月	24	12	50.0	13	25	0	0.0	0	25	9	36.0	9	25	9	36.0	10	25	19	76.0	24	124	49	39.5	56	1,961
12月	24	5	20.8	5	24	0	0.0	0	24	8	33.3	8	24	5	20.8	5	24	8	33.3	10	120	26	21.7	28	693
3年 1月	24	11	45.8	12	24	3	12.5	3	24	10	41.7	10	24	7	29.2	7	24	8	33.3	8	120	39	32.5	40	2,321
2月	24	7	29.2	7	24	0	0.0	0	24	7	29.2	8	24	4	16.7	4	24	7	29.2	7	120	25	20.8	26	790
3月	27	15	55.6	16	26	3	11.5	3	26	7	26.9	7	26	6	23.1	6	27	9	33.3	11	132	40	30.3	43	1,179
計	267	92	34.5	97	274	15	5.5	15	274	82	29.9	86	273	76	27.8	79	273	109	39.9	121	1,361	374	27.5	398	11,935
構成比				14.0%				2.2%				12.4%				11.4%				17.5%				57.6%	
元年度実績	311	161	51.8	174	313	83	26.5	88	310	210	67.7	266	310	203	65.5	248	312	197	63.1	220	1,556	854	54.9	996	46,364

イ 展示室利用

利用月	G室				H室				X室				合計				入場者数 (G・H・X)
	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	利用 可能 日数 (A)	利用 日数 (B)	利用 率 (B/A)	利用 件数	
2年 4月	21	0	0.0	0	21	0	0.0	0	21	5	23.8	5	63	5	7.9	5	49
5月	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0	—	—	—	0	0
6月	25	1	4.0	1	25	1	4.0	1	25	0	0.0	0	75	2	2.7	2	19
7月	18	0	0.0	0	18	5	27.8	5	20	6	30.0	6	56	11	19.6	11	389
8月	26	18	69.2	18	26	5	19.2	5	26	7	26.9	7	78	30	38.5	30	1,131
9月	26	14	53.8	14	26	16	61.5	16	26	14	53.8	14	78	44	56.4	44	1,974
10月	27	17	63.0	17	27	22	81.5	22	27	16	59.3	16	81	55	67.9	55	2,541
11月	25	20	80.0	20	25	8	32.0	8	25	12	48.0	12	75	40	53.3	40	1,974
12月	24	12	50.0	12	24	6	25.0	6	24	6	25.0	6	72	24	33.3	24	1,774
3年 1月	24	5	20.8	5	24	4	16.7	4	24	11	45.8	11	72	20	27.8	20	631
2月	24	7	29.2	7	24	6	25.0	6	12	0	0.0	0	60	13	21.7	13	685
3月	26	13	50.0	13	26	12	46.2	12	26	24	92.3	24	78	49	62.8	49	3,072
計	266	107	40.2	107	266	85	32.0	85	256	101	39.5	101	788	293	37.2	293	14,239
構成比				15.5%				12.3%				14.6%				42.4%	
元年度実績	303	215	71.0	215	303	210	69.3	210	281	235	83.6	235	887	660	74.4	660	63,540

ウ 合計

利用率	利用件数 合計	入場者数 合計
7.7	13	206
—	0	0
19.0	41	800
30.8	56	1,277
26.5	56	1,900
40.3	85	3,039
45.4	101	3,872
44.7	96	3,935
26.0	52	2,467
30.7	60	2,952
21.1	39	1,475
42.4	92	4,251
31.0	691	26,174
100.0%		
62.0	1,656	109,904

- (注) 1 利用日数は、1日に複数の利用（例：午前1件と午後1件）があった場合でも1日としている。
2 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
3 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

(2) 催物別利用状況

利用月	催物別利用件数										計
	映画会	芸術文化 講演会	芸術文化に 関する会議	展覧会	展覧会 表彰式	国際会議	教育・学術 会議	研修	その他の 講演会	その他の 会議	
2年 4月	—	1	3	5	—	—	—	—	—	4	13
5月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
6月	—	1	18	1	—	—	—	—	4	17	41
7月	—	2	22	11	—	—	—	—	3	18	56
8月	—	—	14	30	—	—	—	—	4	8	56
9月	—	5	18	44	—	—	—	—	1	17	85
10月	5	1	21	54	—	—	—	—	—	20	101
11月	8	4	22	39	—	—	—	—	2	22	97
12月	—	1	16	24	—	—	—	—	1	10	52
3年 1月	—	22	18	11	1	—	—	—	—	8	60
2月	—	1	10	12	—	—	—	—	2	14	39
3月	1	5	19	48	3	—	—	—	—	16	92
計	14	43	181	279	4	0	0	0	17	154	692
構成比	2.0%	6.2%	26.2%	40.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	22.3%	100.0%
元年度実績	59	84	426	628	4	0	0	2	137	316	1,656

- (注) 1 利用件数は、一つの催物が複数日にわたる場合には利用日数で計算している。
2 構成比は、全体に占める割合（％）を、小数点第2位以下を四捨五入して示している。

事業報告の附属明細書

令和 2 年度事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がありませんので、附属明細書は作成しておりません。